横浜市立いずみ野小学校　学校だより　冬休み号　No.525

いずみ野

令和３年１２月２４日

https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/

学校教育目標　「自分が好き　友だちが好き　学校が好き　このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

本年も　お世話になりました

校長　齋藤　敦子

１２月に入り、子どもたちが育ててきた野菜や米の収穫が終わりました。その喜びや感謝の気持ちを、保護者の皆様や地域の皆様に収穫祭で伝えました。今年の生産活動は子どもたちの手でスタートし、１～３年生のサツマイモは横山正美様のご指導で苗を垂直に植えました。その成果があり、横に育ったイモは太くてまるまるしていて皆、目を丸くしていました。米作りは子どもたちが総合的な学習の時間の一貫で植え方を自分たちで考え、一人ひとりが主体的な活動となるよう学びを深めました。今年は脱穀後、実の入りが多いもみと軽いもみと藁の三種類に分ける大正時代から使われている『唐箕（とうみ）』（地域の方の寄贈）を使って、根気よく作業をしました。初の試みで職員も子どもたちも「昔の人はすごい！」の一言に尽きました。唐箕の使い方は横山義一様と石井翔大様にご指導をいただきました。

唐箕（とうみ）：籾米の前に質の良い米に仕分ける農機具（大正時代）

学び隊は綿花に初チャレンジ！これもまた大豊作で正美様にお借りした『綿繰り機』で綿と種を分けて、糸を紡いでいけるように子どもたちが調べています。様々な手法を発見し、何とも綿と人のぬくもりを感じる活動です。

学び隊：「綿繰り」

早いもので、今年もあと僅かで新しい年を迎えます。今年も新型コロナウイルス感染症防止対策を施しながらの活動ですが、運動会、修学旅行、宿泊体験学習、社会科見学など、初めからできる！と信じ、工夫しながらの年となりました。改めて保護者の皆様、地域の皆様のお力添えに感謝し、大切にされて成長しているいずみ野小の子どもたちは大変幸せです。大変お世話になりました。

いよいよ明日からは、子どもたちが待ちに待った冬休みに入ります。この休みは、故郷や地域に足を運んだり、家庭でのんびりしたりと様々な過ごし方ができるとよいです。様々な人や家族とのふれあいを大切に、この時期ならではの日本の伝承遊びや風習に触れ、有意義な冬休みを送ってほしいと思います。

いずみ野小学校「学援隊」の皆様が横浜市防犯協会連合会より、防犯功労者【優良防犯の部】として表彰されました。（市内表彰２０団体のうち、学校は本校のみでした。写真は学援隊代表：栁田詔二様）毎日、子どもたちの安全・安心のために笑顔と心のこもった見守りをありがとうございます。

今年も本校の教育活動に、様々な形でご支援とご協力をいただきまして本当にありがとうございました。１月７日（金）には、笑顔の子どもたちに会えることを楽しみにしています。皆様もどうぞ良いお年をお迎えください。